

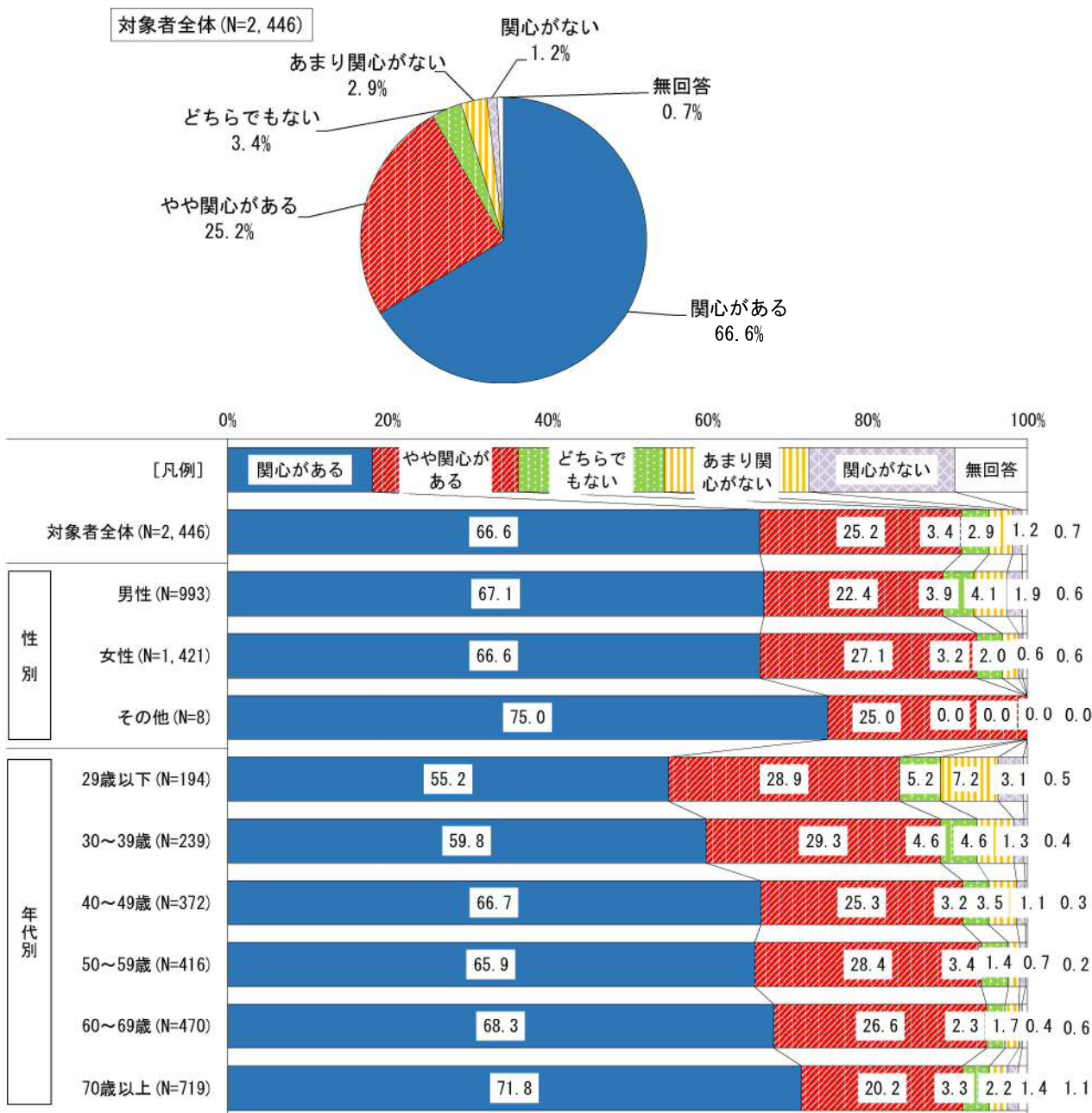
(3)ヒグマに対する意識と札幌市の対策について

◇ヒグマの出没に対する関心の有無

問 1 2 あなたは、市街地や住宅街にヒグマが出没していることについて関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

市街地や住宅地にヒグマが出没していることについて“関心がある”人は91.8%

※“関心がある”（「関心がある」＋「やや関心がある」）



【全体】市街地や住宅地にヒグマが出没していることについて、「関心がある」が66.6%、「やや関心がある」が25.2%、合わせると91.7%となっている。一方、「あまり関心がない」が2.9%、「関心がない」が1.2%、合わせると4.1%となっている。

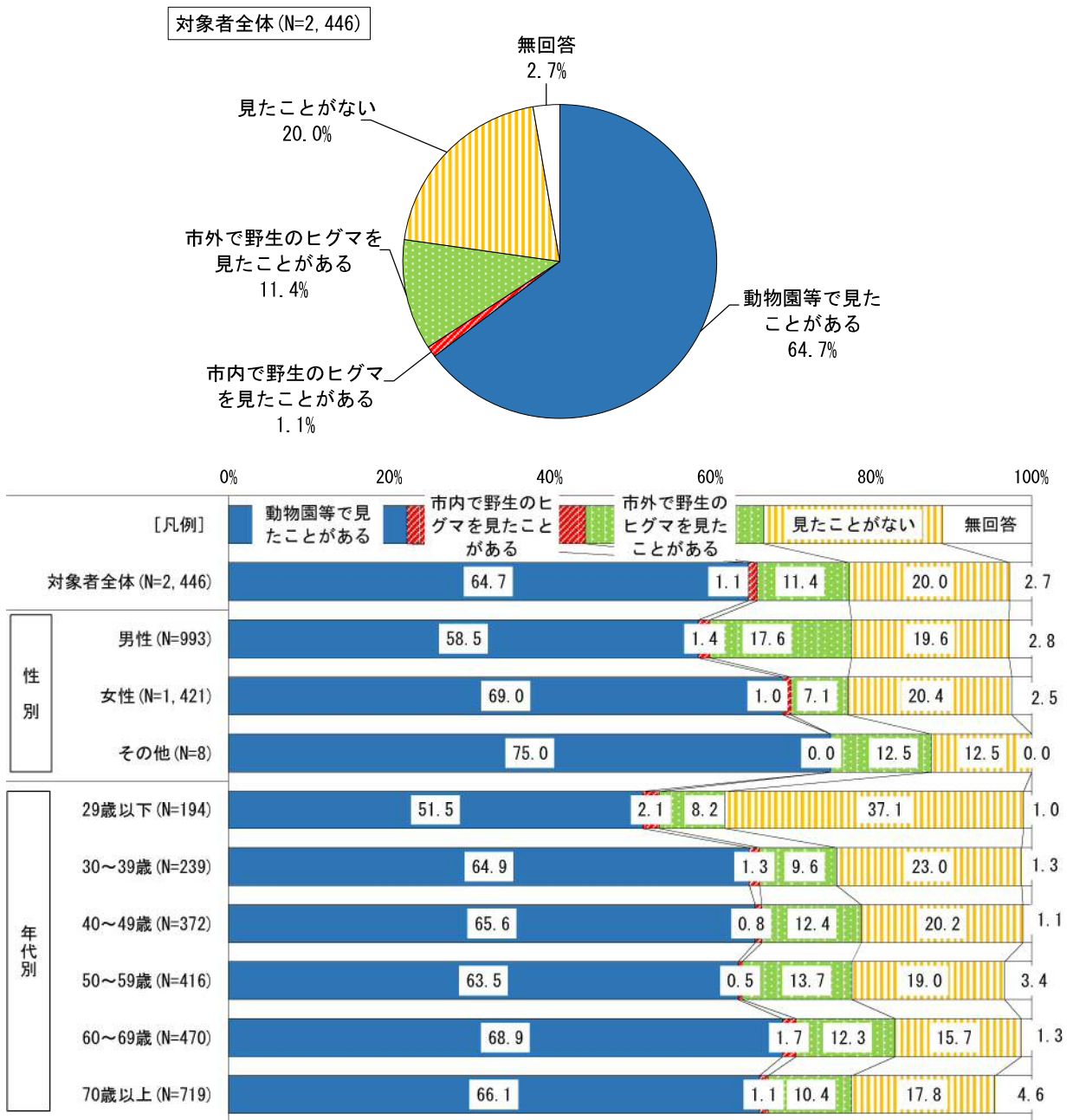
【性別】大きな差は見られない。

【年代別】“関心がある”が60歳代(94.9%)で最も高く、次いで50歳代(94.3%)、40歳代(92.0%)となっている。

◇ヒグマを見た経験の有無

問 1 3 あなたは、ヒグマを見たことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ヒグマを見たことがあるかは「動物園等で見たことがある」と回答した人が 64.7%



【全体】ヒグマを見たことがあるかは、「動物園等で見たことがある」が 64.7%、「市外で野生のヒグマを見たことがある」が 11.4%、「市内で野生のヒグマを見たことがある」が 1.1%となっている。一方で「見たことがない」が 20.0%となっている。

【性別】「動物園等で見たことがある」は女性が 69.0%と、男性の 58.5%より 10.5 ポイント高くなっている。また、「市外で野生のヒグマを見たことがある」は男性が 17.6%と、女性の 7.1%より 10.5 ポイント高くなっている。

【年代別】「動物園等で見たことがある」が 60 歳代 (68.9%) で最も高く、次いで 70 歳以上 (66.1%)、40 歳代 (65.6%) となっている。

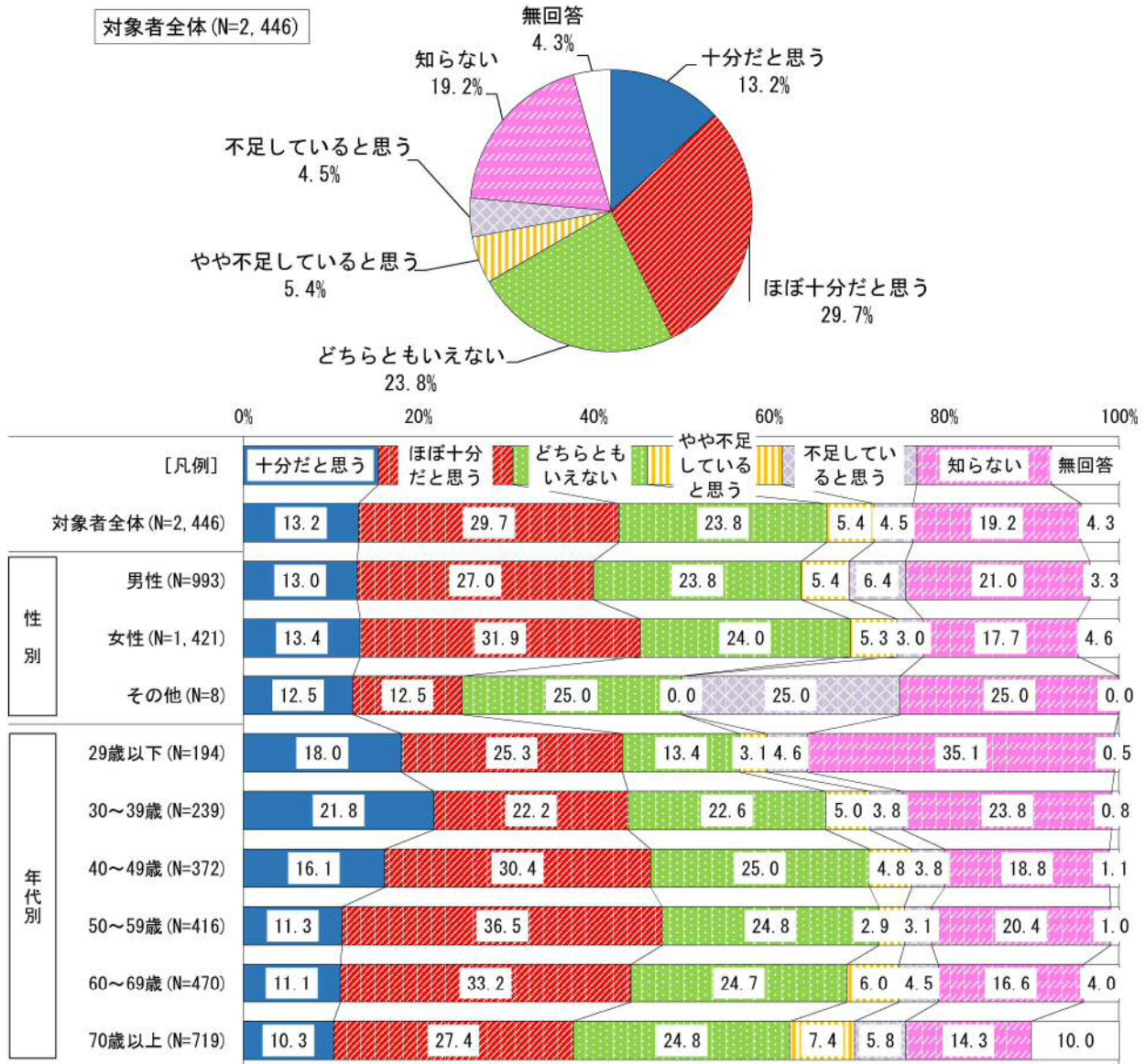
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(ア) 出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）

出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）は“十分だと思う”と回答した人が42.9%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】 出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）は、「十分だと思う」が13.2%、「ほぼ十分だと思う」が29.7%、合わせると42.9%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が5.4%、「不足していると思う」が4.5%、合わせると9.9%となっている。

【性別】 “十分だと思う” は女性が45.3%と、男性の40.0%より5.3ポイント高くなっている。

【年代別】 “十分だと思う” が50歳代（47.8%）で最も高く、最も低い70歳以上（37.7%）と比べると10.1ポイントの差となっている。

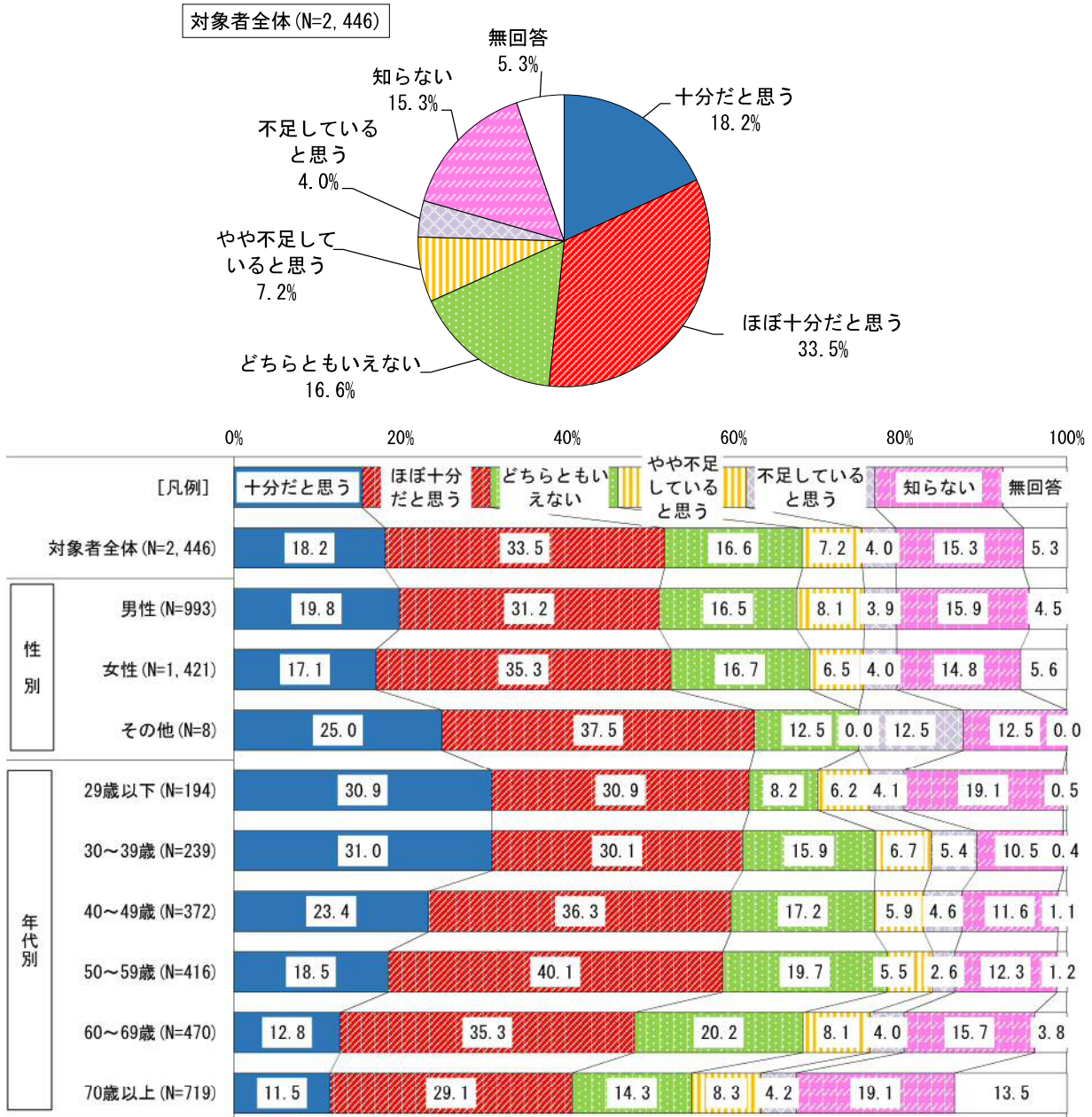
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(イ) 出没情報の提供（ホームページ、SNSなど）

出没情報の提供は“十分だと思う”と回答した人が51.7%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全 体】 出没情報の提供は、「十分だと思う」が18.2%、「ほぼ十分だと思う」が33.5%、合わせると51.7%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が7.2%、「不足していると思う」が4.0%、合わせると11.2%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “十分だと思う” は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

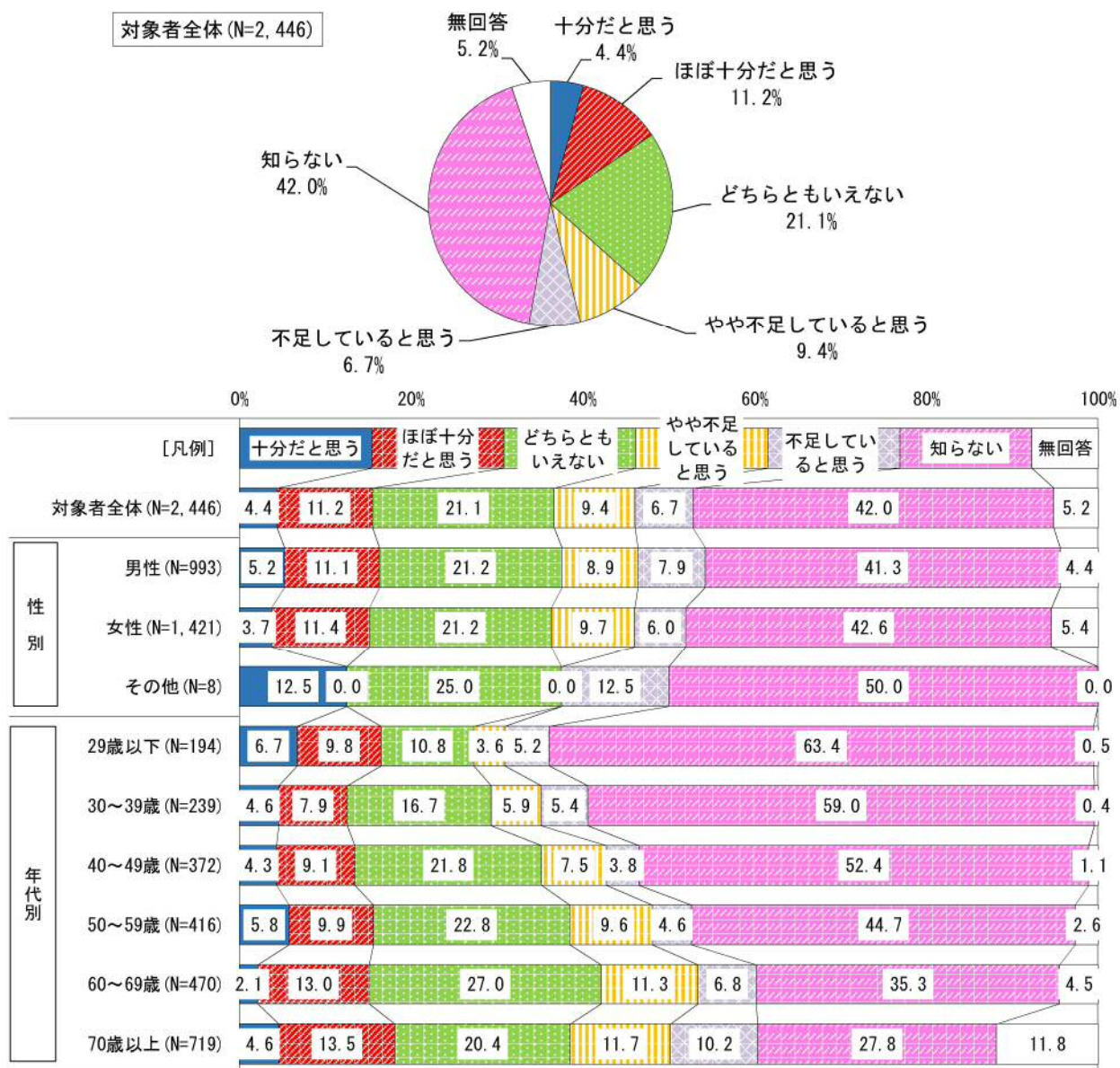
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(ウ) 農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）

農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）は“十分だと思う”と回答した人が15.6%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）は、「十分だと思う」が4.4%、「ほぼ十分だと思う」が11.2%、合わせると15.5%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が9.4%、「不足していると思う」が6.7%、合わせると16.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】70歳以上では“十分だと思う”、“不足していると思う”（「やや不足していると思う」＋「不足していると思う」）がどちらも最も高くなっている。

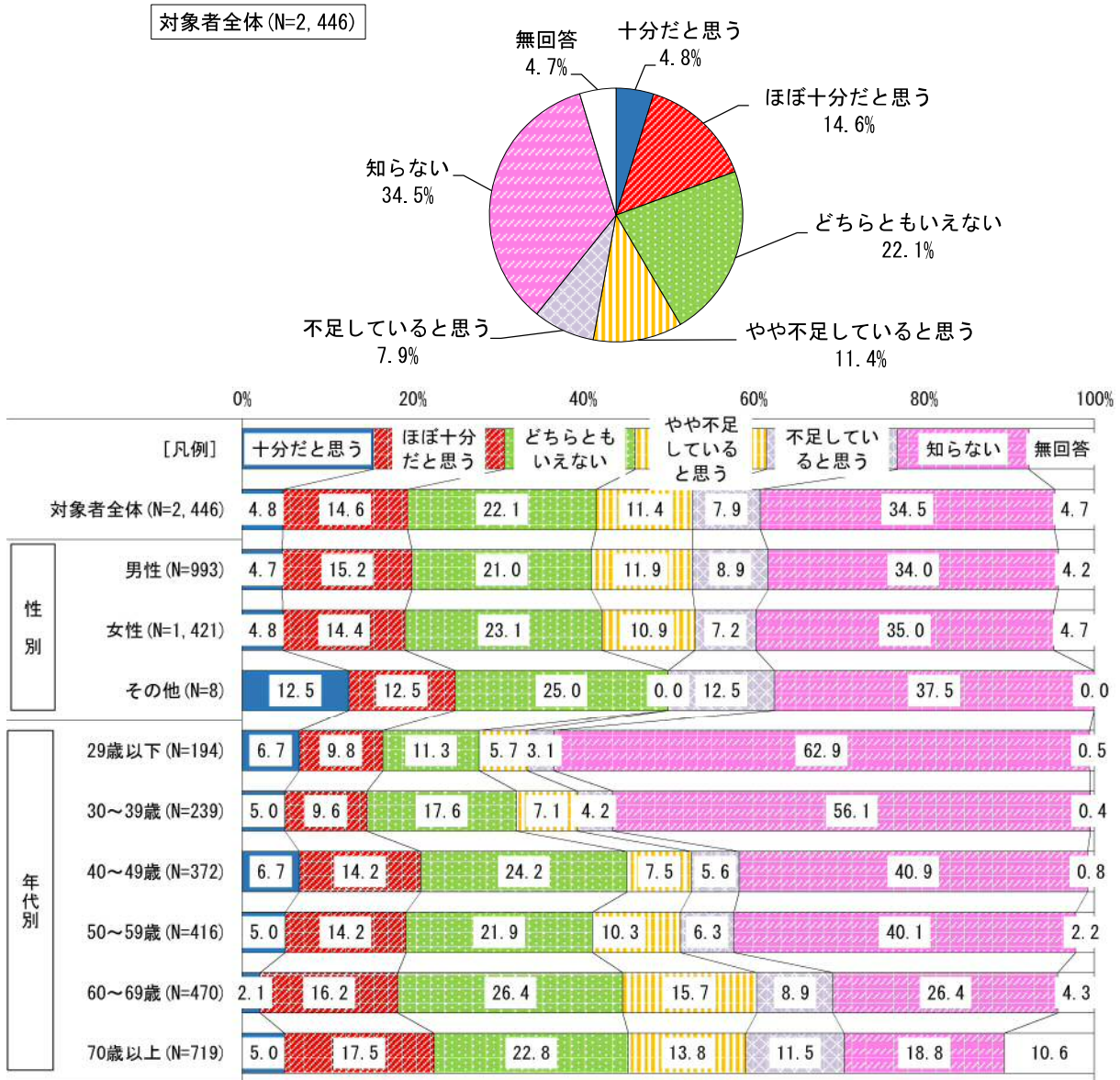
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(エ) 地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採

地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採は、“十分だと思う”と回答した人が19.4%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】 地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採は、「十分だと思う」が4.8%、「ほぼ十分だと思う」が14.6%、合わせると19.4%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が11.4%、「不足していると思う」が7.9%、合わせると19.3%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「やや不足している」「不足していると思う」（「やや不足していると思う」＋「不足していると思う」）は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

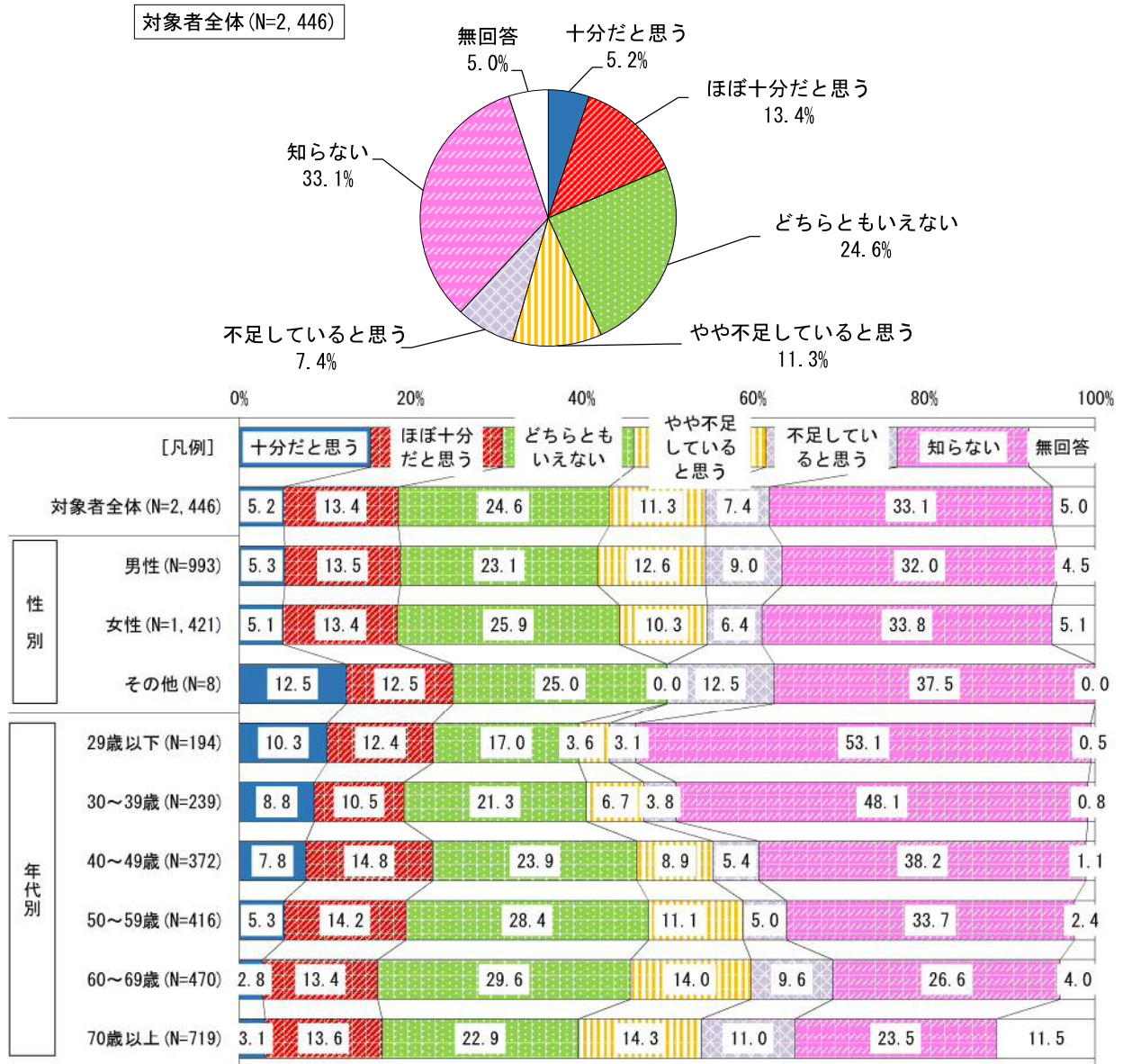
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(オ) 札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査

札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査は、“十分だと思う”と回答した人が 18.6%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査は、「十分だと思う」が 5.2%、「ほぼ十分だと思う」が 13.4%、合わせると 18.6%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が 11.3%、「不足していると思う」が 7.4%、合わせると 18.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“十分だと思う”が 29 歳以下 (22.7%) で最も高く、次いで 40 歳代 (22.6%)、50 歳代 (19.5%) となっている。

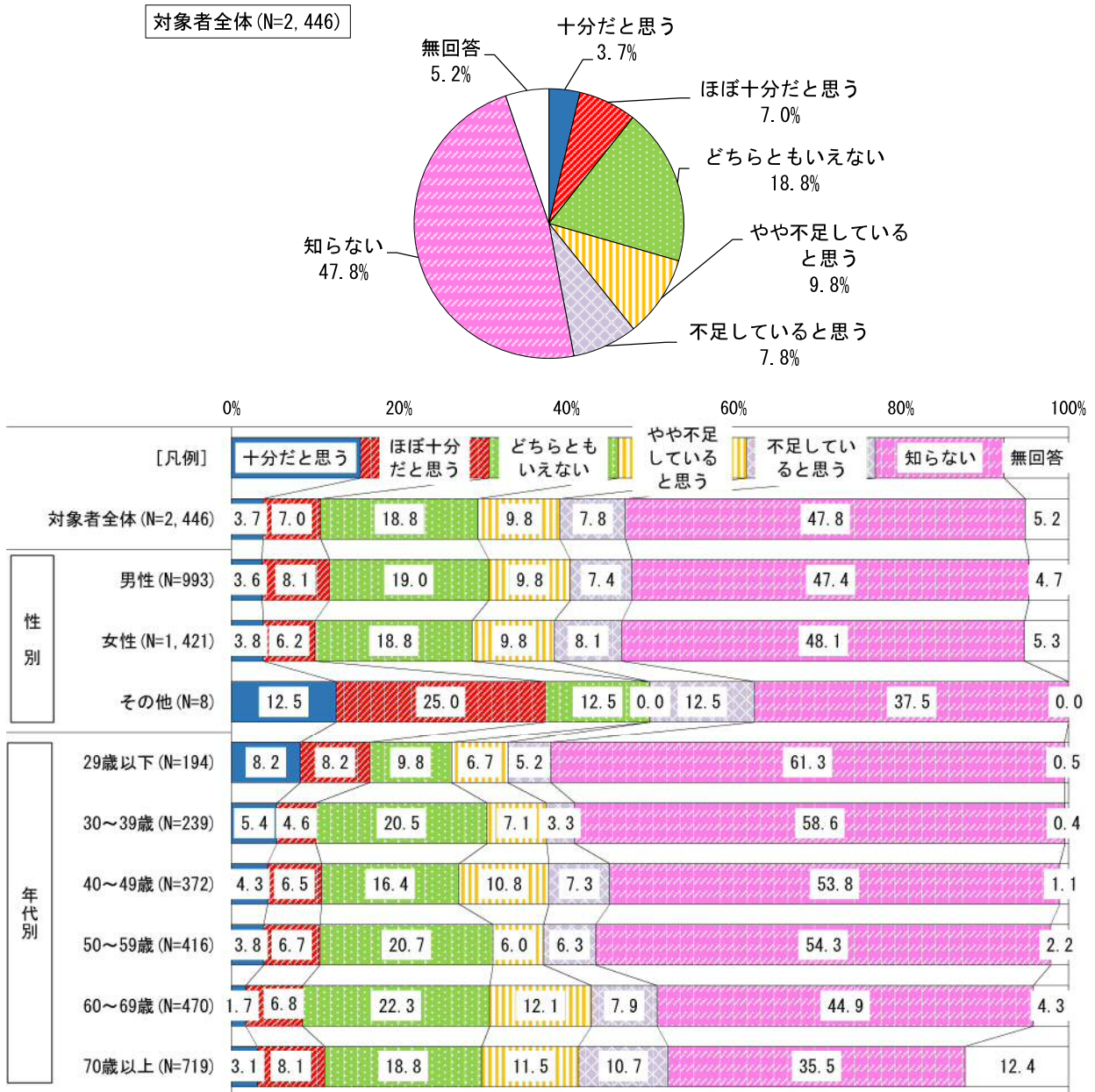
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(カ) 小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラム

小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラムは、「十分だと思う」と回答した人が10.7%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】 小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラムは、「十分だと思う」が3.7%、「ほぼ十分だと思う」が7.0%、合わせると10.7%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が9.8%、「不足していると思う」が7.8%、合わせると17.6%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

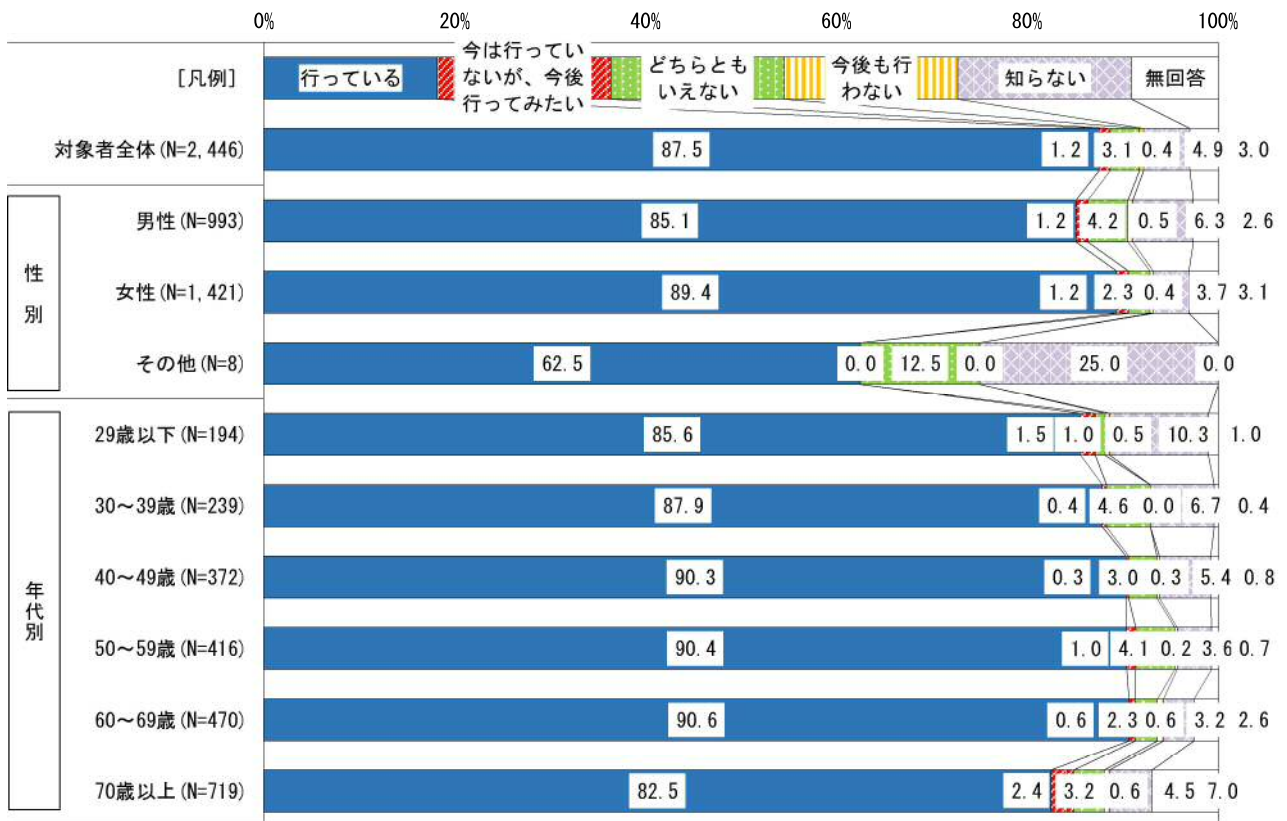
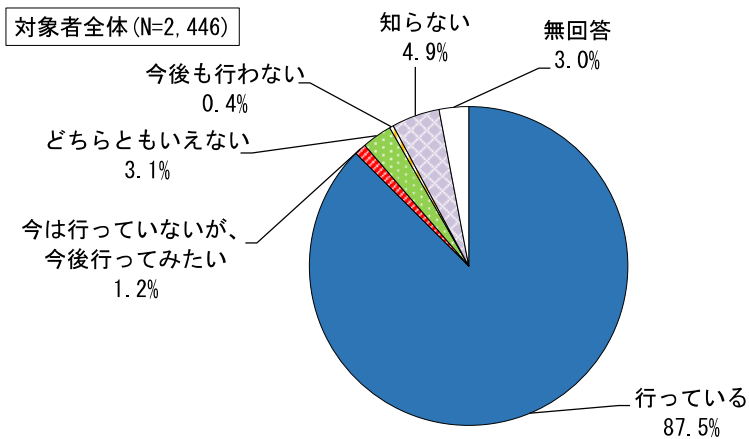
【年代別】 “不足していると思う”（「やや不足していると思う」＋「不足していると思う」）が70歳以上（22.3%）で最も高く、ついで60歳代（22.0%）、40歳代（18.1%）となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ア) ゴミ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）

ゴミ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）ことは、「行っている」と回答した人が 87.5%



【全 体】 ゴミ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）ことは、「行っている」が 87.5%、「今も行っていないが今後行ってみたい」が 1.2%、「今後も行わない」が 0.4%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「行っている」は 60 歳代（90.6%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（82.5%）と比べると、8.1 ポイントの差となっている。

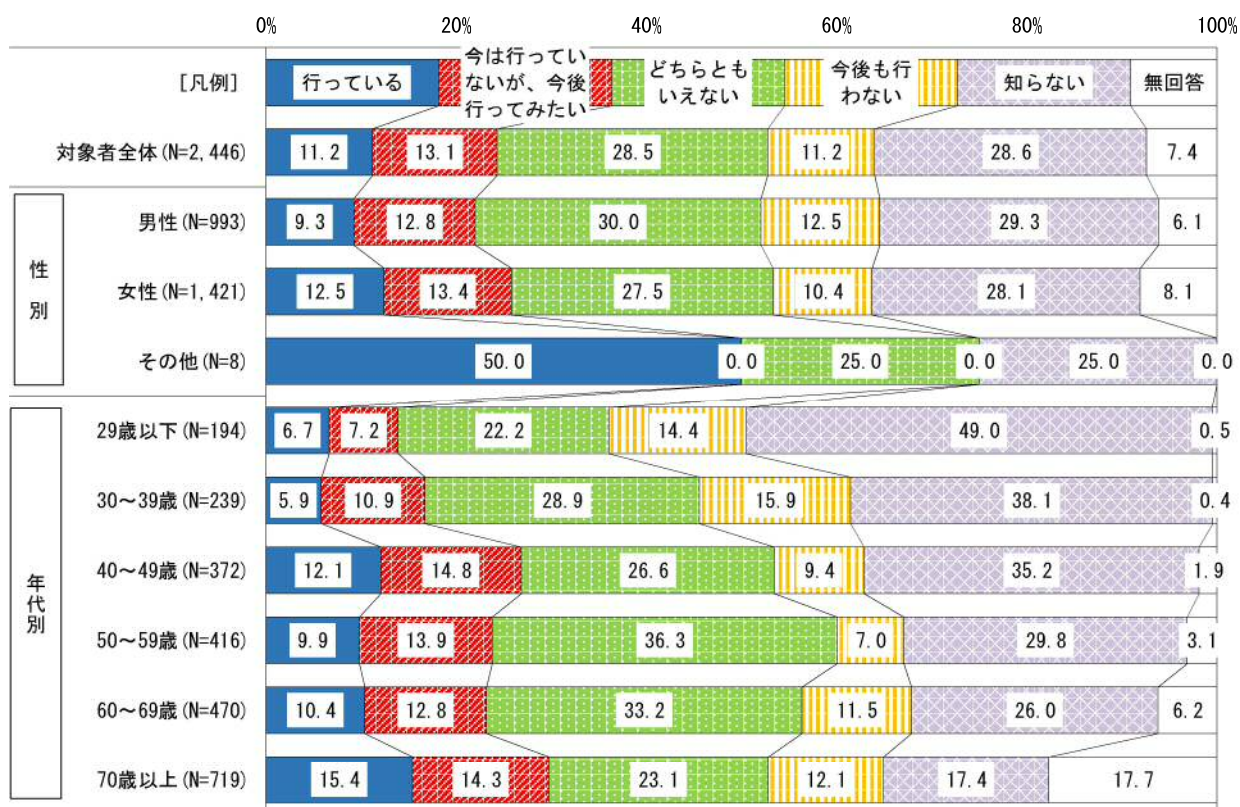
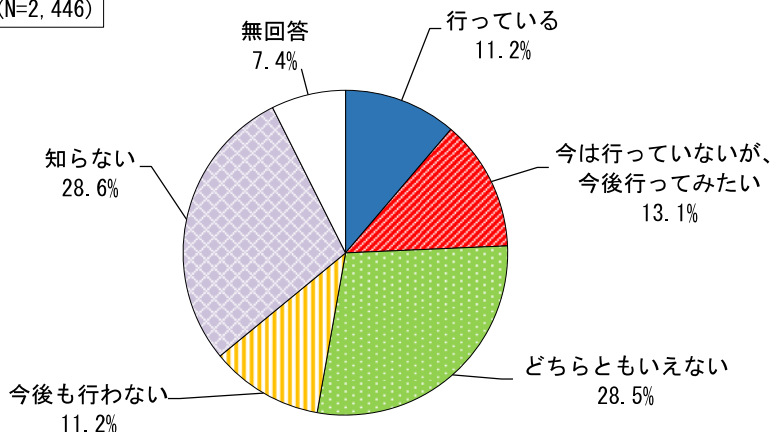
◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(イ) 見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）

見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）ことは、「行っている」と回答した人が11.2%

対象者全体 (N=2,446)



【全 体】見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）ことは、「行っている」が11.2%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が13.1%、「今後も行わない」が11.2%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

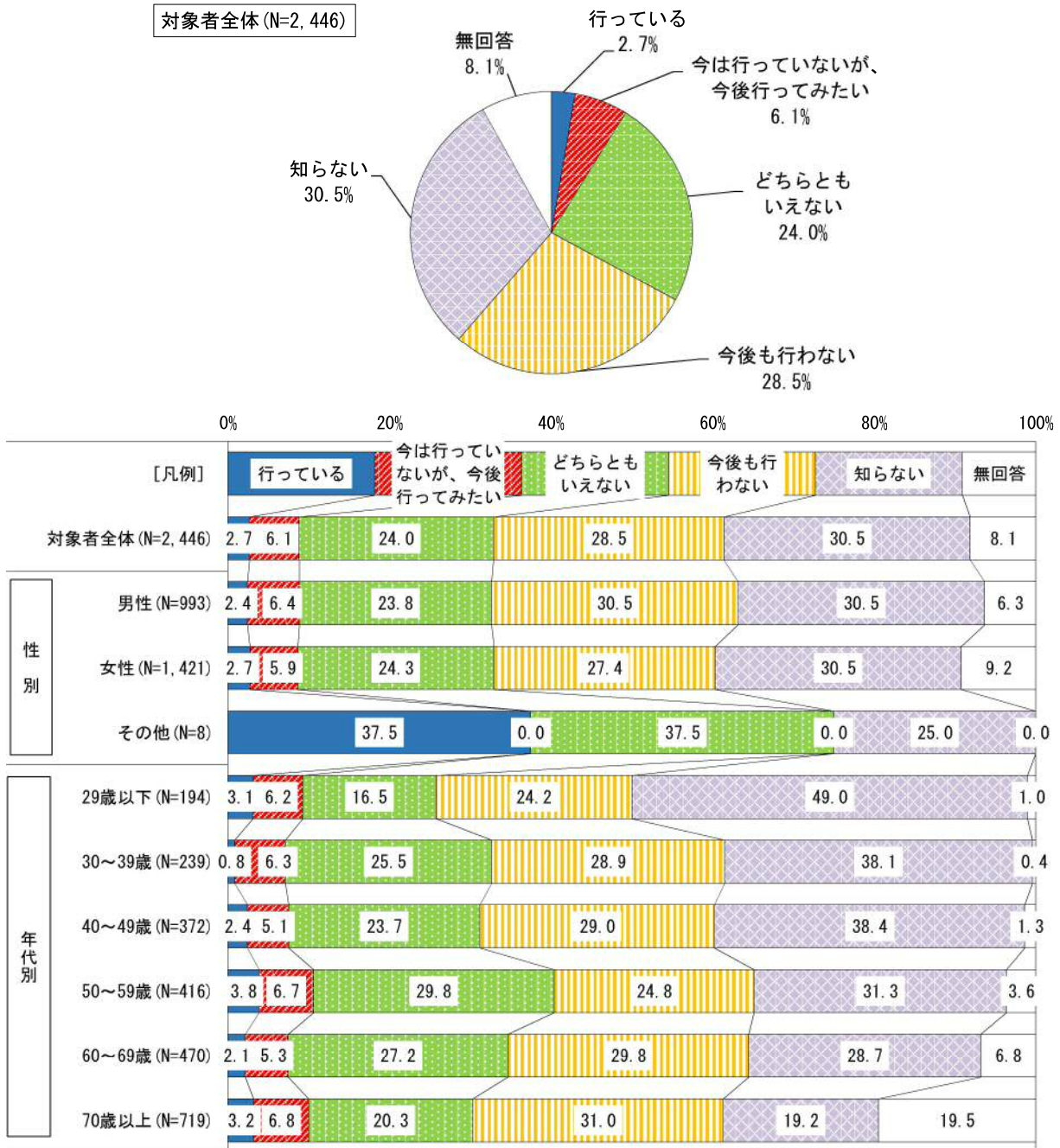
【年代別】「行っている」は70歳以上（15.4%）が最も高く、最も低い30歳代（5.9%）と比べると、9.5ポイントの差となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ウ) 畑や家庭菜園などを電気柵で囲う

畑や家庭菜園などを電気柵で囲うことは、「行っている」と回答した人が2.7%



【全 体】 畑や家庭菜園などを電気柵で囲うことは、「行っている」が2.7%、「今も行っていないが今後行ってみたい」が6.1%、「今後も行わない」が28.5%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

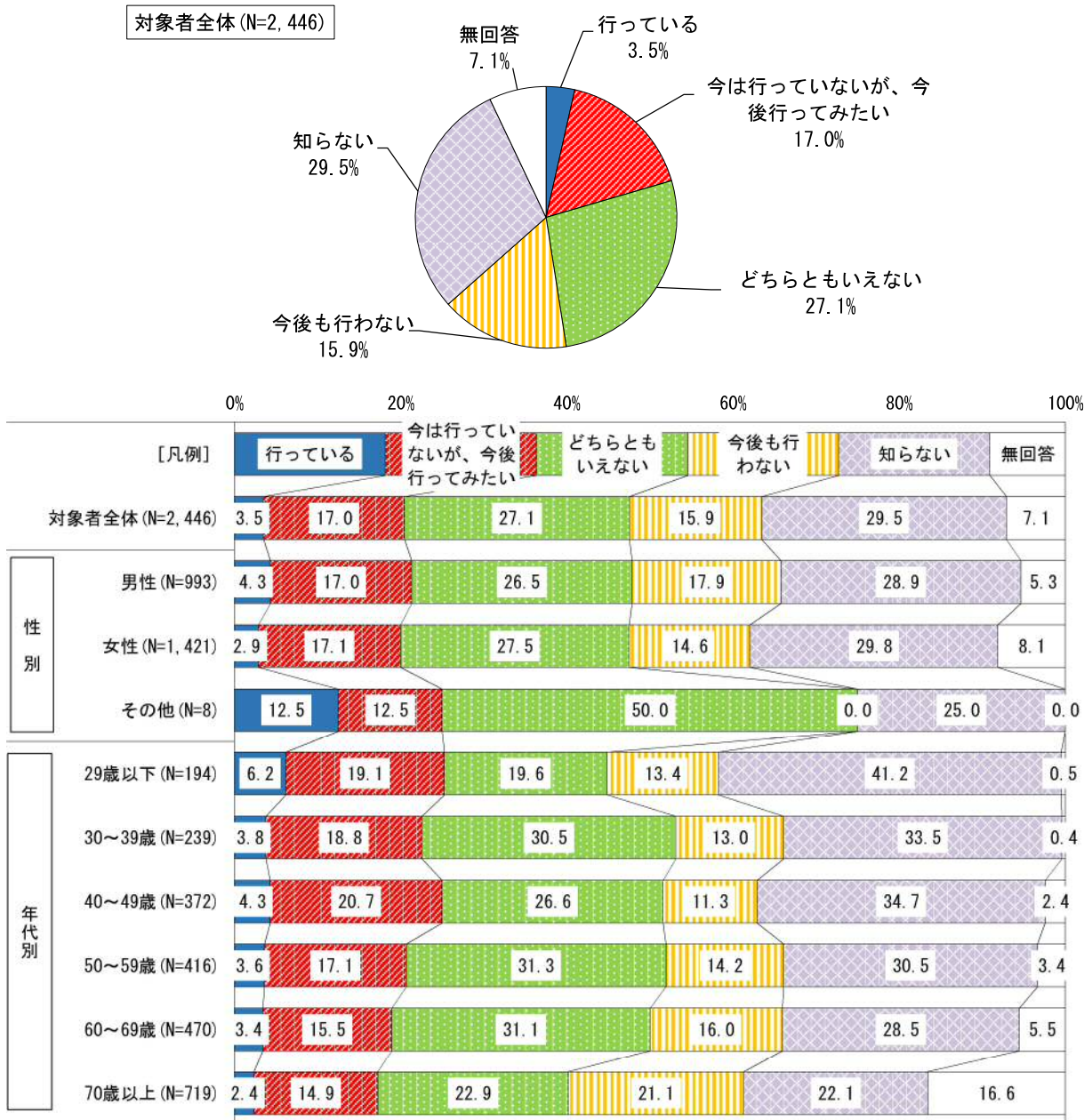
【年代別】 「今後も行わない」が70歳以上(31.0%)で最も高く、次いで60歳代(29.8%)、40歳代(29.0%)となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(エ) ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりする

ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりすることは、「行っている」と回答した人が3.5%



【全 体】 ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりすることは、「行っている」が3.5%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が17.0%、「今後行わない」が15.9%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

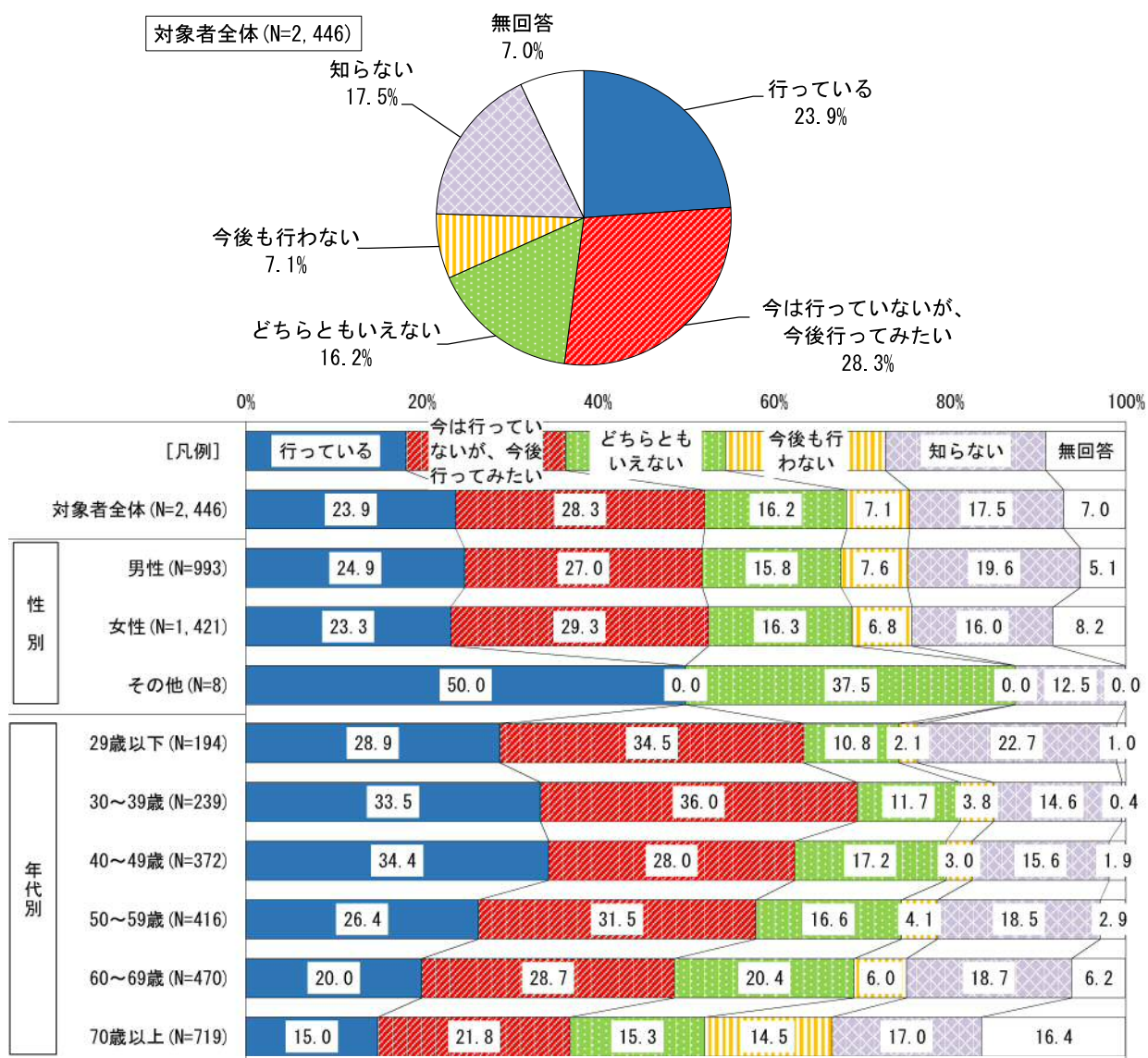
【年代別】 「今は行っていないが、今後行ってみたい」は40歳代(20.7%)で最も高く、次いで29歳以下(19.1%)、30歳代(18.8%)となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(オ) 自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没情報をホームページ等で確認する

自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没情報をホームページ等で確認することは、「行っている」と回答した人が 23.9%



【全 体】 自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没情報をホームページ等で確認することを、「行っている」が 23.9%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が 28.3%、「今後も行わない」が 7.1%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

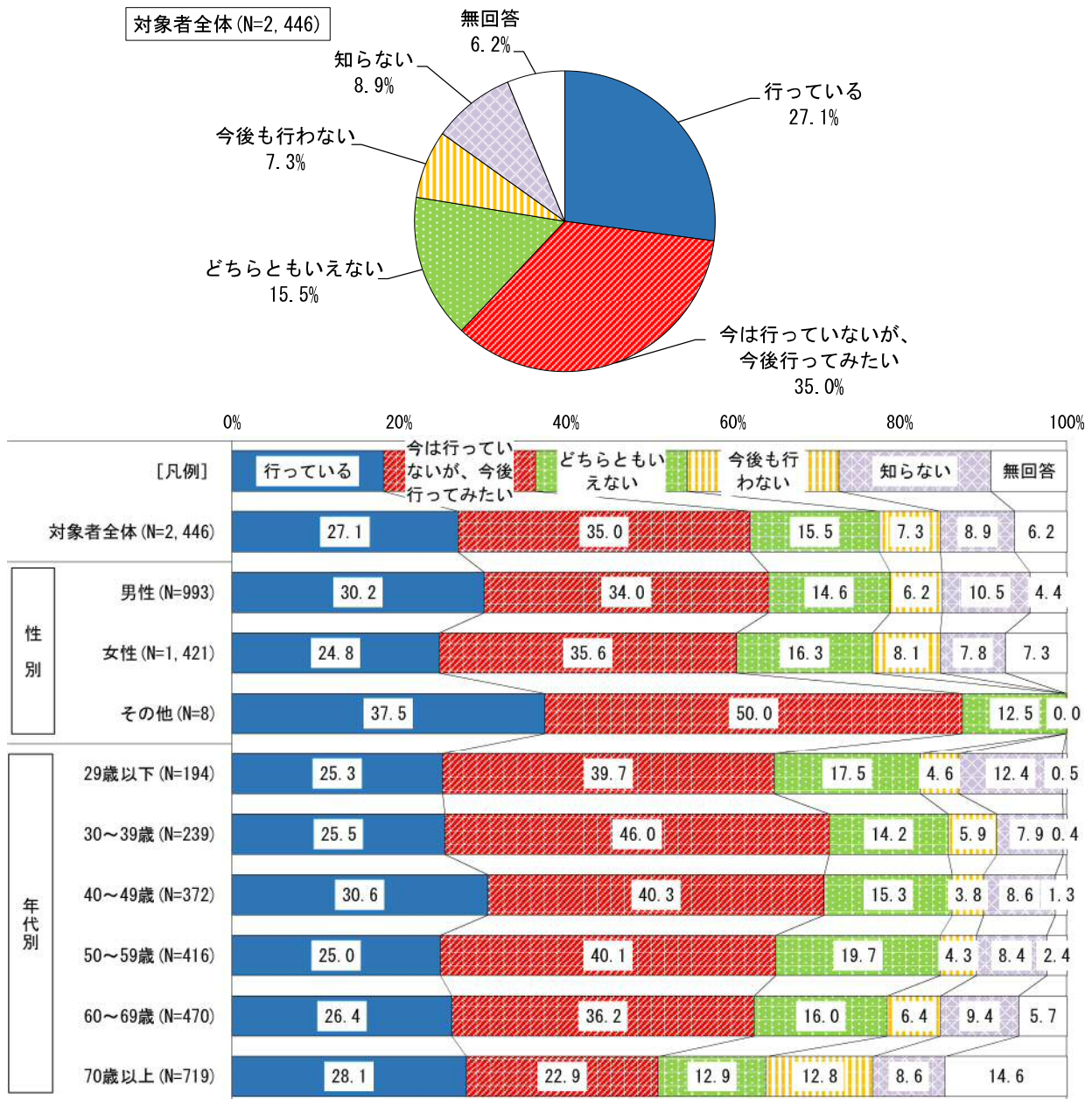
【年代別】 「行っている」は 40 歳代（34.4%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（15.0%）と比べると 19.4 ポイントの差となっている。また、「今は行っていないが、今後行ってみたい」は 30 歳代（36.0%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（21.8%）と比べると 14.2 ポイントの差となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(カ) 屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩く

屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩くことは、「行っている」と回答した人が 27.1%



【全体】屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩くことは、「行っている」が 27.1%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が 35.0%、「今後行わない」が 7.3%となっている。

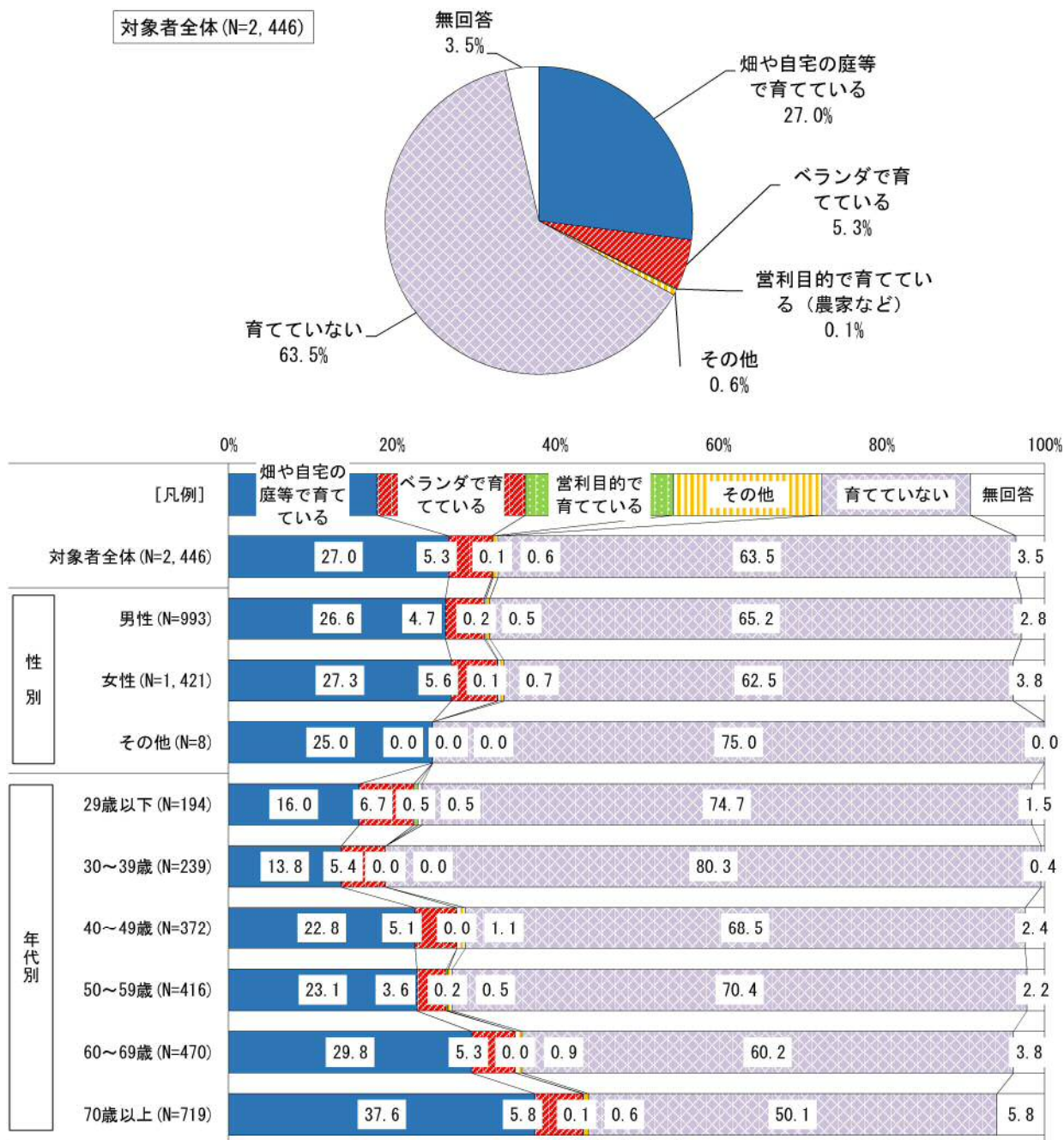
【性別】「行っている」は男性が 30.2%と、女性の 24.8%より 5.4ポイント高くなっている。

【年代別】「今は行っていないが、今後行ってみたい」は 30歳代（46.0%）が最も高く、最も低い 70歳以上（22.9%）と比べると 23.1ポイントの差となっている。

◇野菜や果実などの作物の育成方法

問 1 6 あなたは、野菜や果実などの作物をどのように育てていますか。あてはまるものに1つだけ○を付けてください。なお、複数の方法で育てている場合は最も力を入れて行っているものを選んでください。

野菜や果実などの作物の育成方法は「畑や自宅の庭等で育てている」と回答した人は27.0%



【全体】野菜や果実などの作物をどのように育てているかは、「畑や自宅の庭等で育てている」が27.0%、「ベランダで育てている」が5.3%、「営利目的で育てている（農家など）」が0.1%となっている。一方、「育てていない」が63.5%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

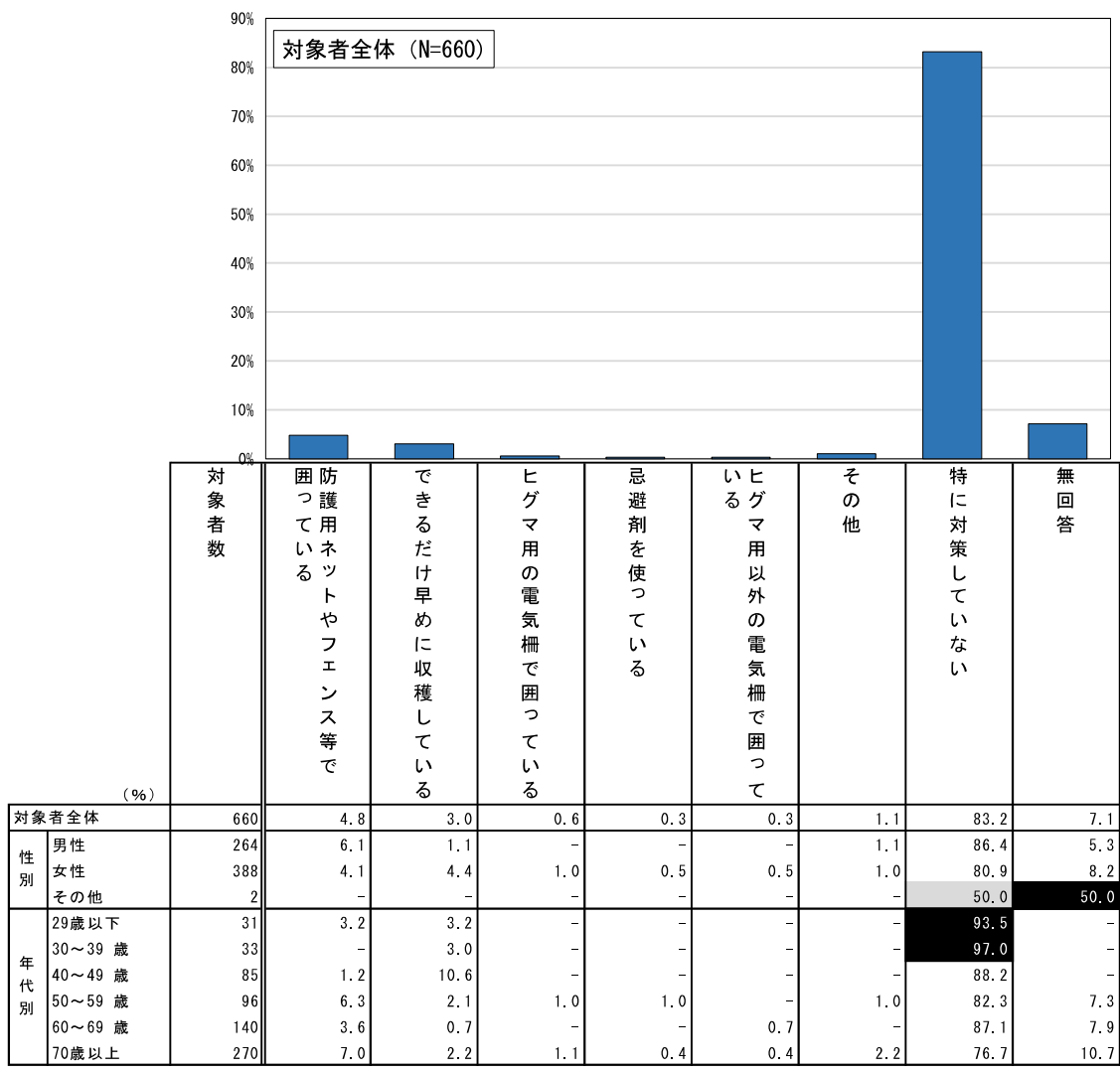
【年代別】「畑や自宅の庭等で育てている」は、70歳代(37.6%)が最も高く、最も低い30歳代(13.8%)と比べると23.8ポイントの差となっている。

◇家庭菜園でのヒグマ被害を防ぐために行っている対策

《問16で、「1 畑や自宅の庭等で育てている」と答えた方にお聞きします。》

問16-1 あなたが、家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策は、「防護用ネットやフェンス等で囲っている」と回答した人が4.8%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策は、「防護用ネットやフェンス等で囲っている」が4.8%、「できるだけ早めに収穫している」が3.0%、「特に対策していない」が83.2%となっている。

【性別】「特に対策していない」は男性が86.4%と、女性の80.9%より5.5ポイント高くなっている。

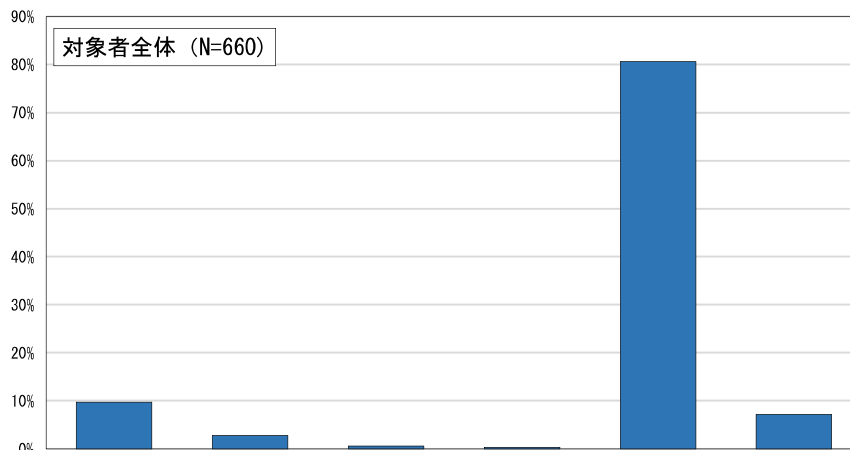
【年代別】「できるだけ早めに収穫している」は40歳代(10.8%)が最も高く、最も低い60歳代(0.7%)と比べると、10.1ポイントの差となっている。

◇札幌市が実施している家庭菜園用電気柵に関する制度を利用したいか

《引き続き、問16で、「1 畑や自宅の庭等で育てている」と答えた方にお聞きします。》

問16-2 あなたは、札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度を利用したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度は、「貸出制度を利用してみたい」と回答した人が9.7%



	対象者数	貸出制度を利用してみたい (%)	購入補助制度を利用してみたい (%)	貸出制度を利用したことがある (%)	購入補助制度を利用したことがある (%)	どちらにも利用したい (%)	無回答 (%)
対象者全体	660	9.7	2.7	0.6	0.3	80.6	7.1
性別							
男性	264	10.2	3.0	0.8	-	81.8	5.3
女性	388	9.5	2.6	0.5	0.5	79.6	8.2
その他	2	-	-	-	-	100.0	-
年代別							
29歳以下	31	29.0	-	-	-	67.7	3.2
30~39歳	33	15.2	-	-	-	84.8	-
40~49歳	85	16.5	3.5	-	-	78.8	2.4
50~59歳	96	13.5	5.2	1.0	-	77.1	7.3
60~69歳	140	6.4	4.3	0.7	-	83.6	6.4
70歳以上	270	5.2	1.5	0.7	0.7	81.5	10.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度は、「貸出制度を利用してみたい」が9.7%、「購入補助制度を利用してみたい」が2.7%、「貸出制度を利用したことがある」が0.6%となっている。

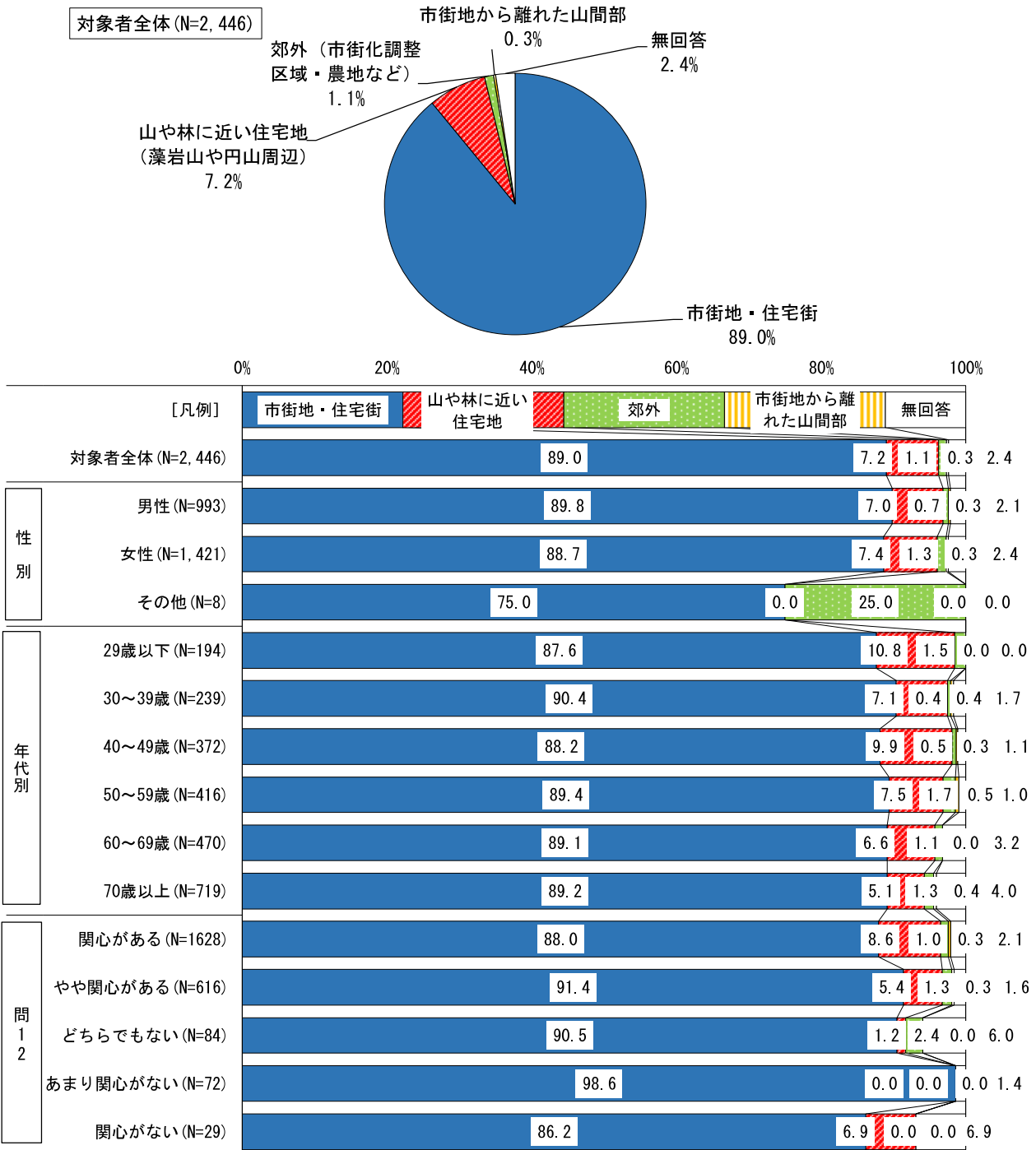
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「貸出制度を利用してみたい」が29歳以下(29.0%)で最も高く、最も低い70歳以上(5.2%)と比べると23.8ポイントの差となっている。

◇お住まいの地域について

問 1 7 あなたの住まいの地域について、最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

お住まいの地域について、「市街地・住宅街」と回答した人が 89.0%



【全 体】お住まいの地域は、「市街地・住宅街」が 89.0%、「山や林に近い住宅街（藻岩山や円山周辺）」が 7.2%、「郊外（市街化調整区域・農地など）」が 1.1%、「市街地から離れた山間部」が 0.3% となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

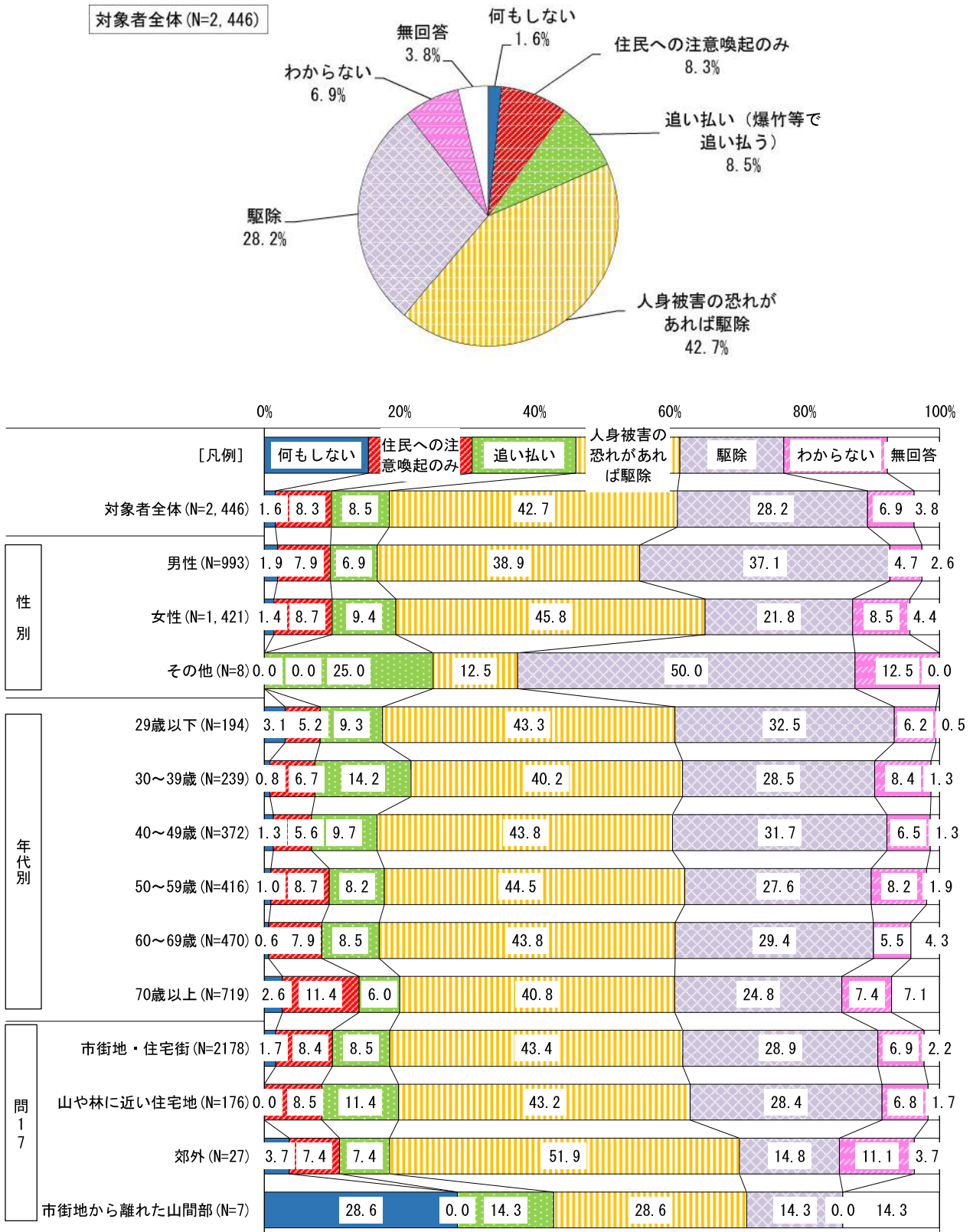
【年代別】「山や林に近い住宅地（藻岩山や円山周辺）」が 29 歳以下で最も高く、次いで 40 歳代（9.9%）、50 歳代（7.5%）となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問 1 8 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ア) 市街地・住宅街など人の居住区域

市街地・住宅街などの人の居住区域では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が42.7%



【全 体】市街地・住宅街などの人の居住区域にヒグマが出没した際の対策は、「人身被害の恐れがある場合は駆除」が42.7%、「駆除」が28.2%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が8.5%、「住民への注意喚起のみ」が8.3%となっている。

【性 別】「人身被害の恐れがある場合は駆除」は女性が45.8%と、男性の38.9%より6.9ポイント高くなっている。また、「駆除」は男性が37.1%と、女性の21.8%より15.3ポイント高くなっている。

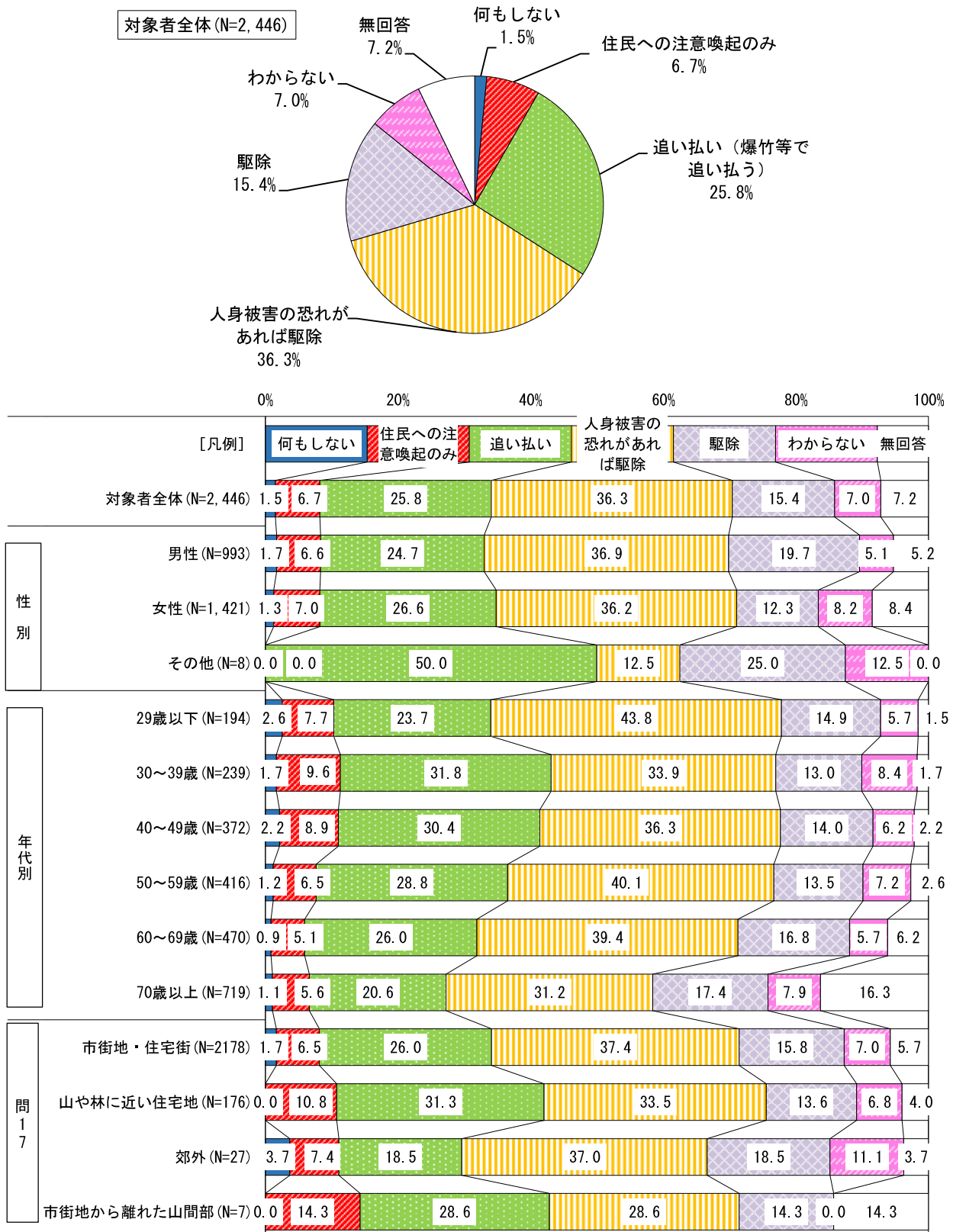
【年代別】「追い払い（爆竹等で追い払う）」は30歳代（14.2%）で最も高く、次いで40歳代（9.7%）、29歳以下（9.3%）となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問 1 8 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(イ) 郊外（市街化調整区域・農地など）

郊外（市街化調整区域・農地など）では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が 36.3%



【全 体】郊外（市街化調整区域・農地など）にヒグマが出没した際の対策は、「人身被害の恐れがある場合は駆除」が 36.3%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が 25.8%、「駆除」が 15.4%、「住民への注意喚起のみ」が 6.7%となっている。

【性 別】「駆除」は男性が 19.7%と、女性の 12.3%よりも 7.4 ポイント高くなっている。

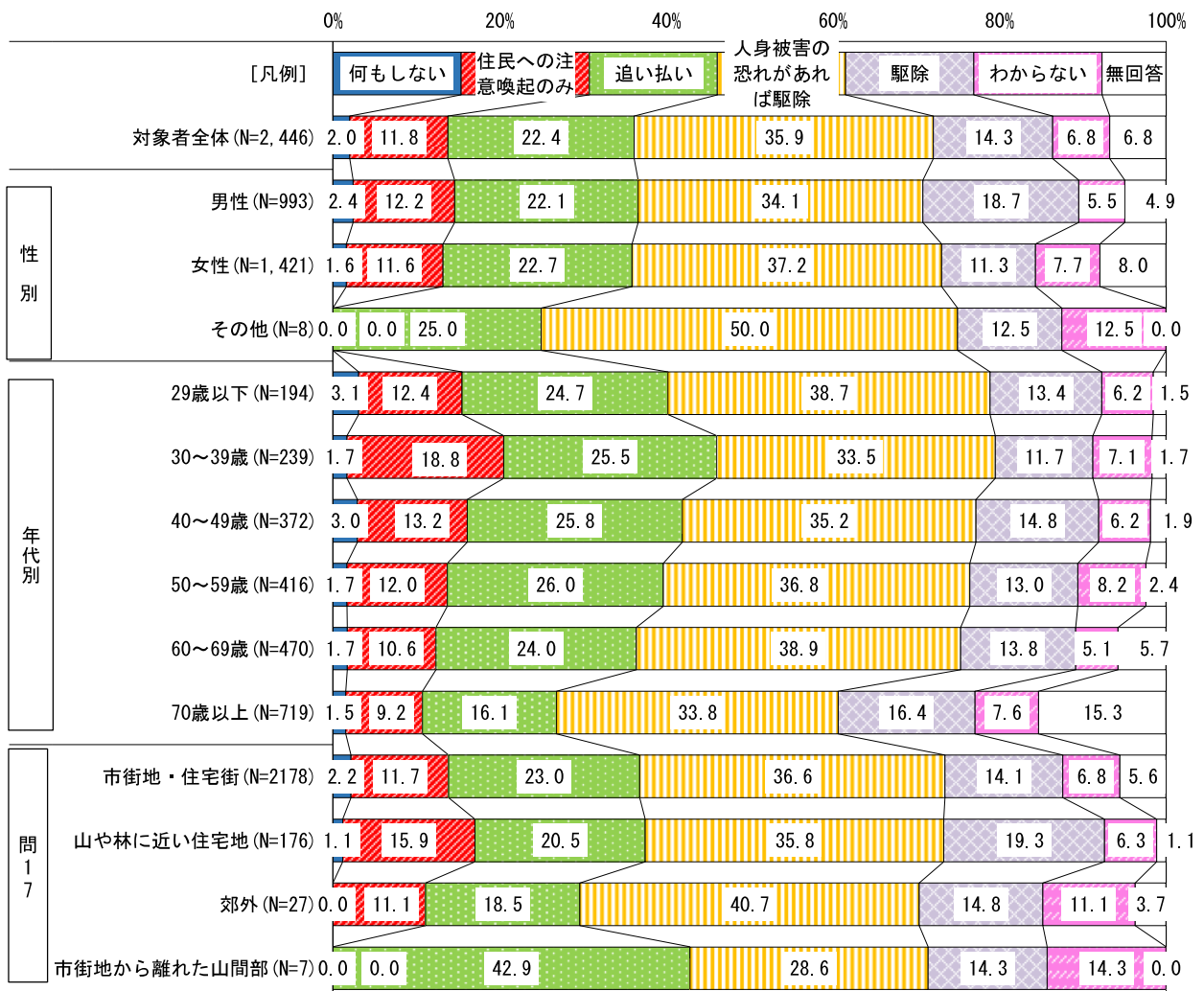
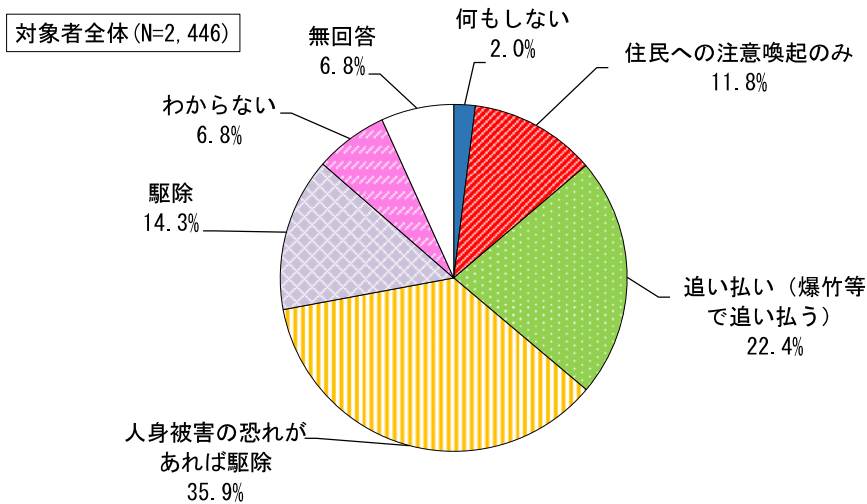
【年代別】「追い払い（爆竹等で追い払う）」は 30 歳以上（31.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（20.6%）と比べると 11.2 ポイントの差となっている。また、「人身被害の恐れがある場合は駆除」は 29 歳以下（43.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（31.2%）と比べると、12.6 ポイントの差となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問 1 8 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ウ) 市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）

市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が35.9%



【全 体】市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）にヒグマが出没した際の対策は、「人身被害の恐れがある場合は駆除」が 35.9%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が 22.4%、「駆除」が 14.3%、「住民への注意喚起のみ」が 11.8%となっている。

【性 別】「駆除」は男性が 18.7%と、女性の 11.3%より 7.4 ポイント高くなっている。

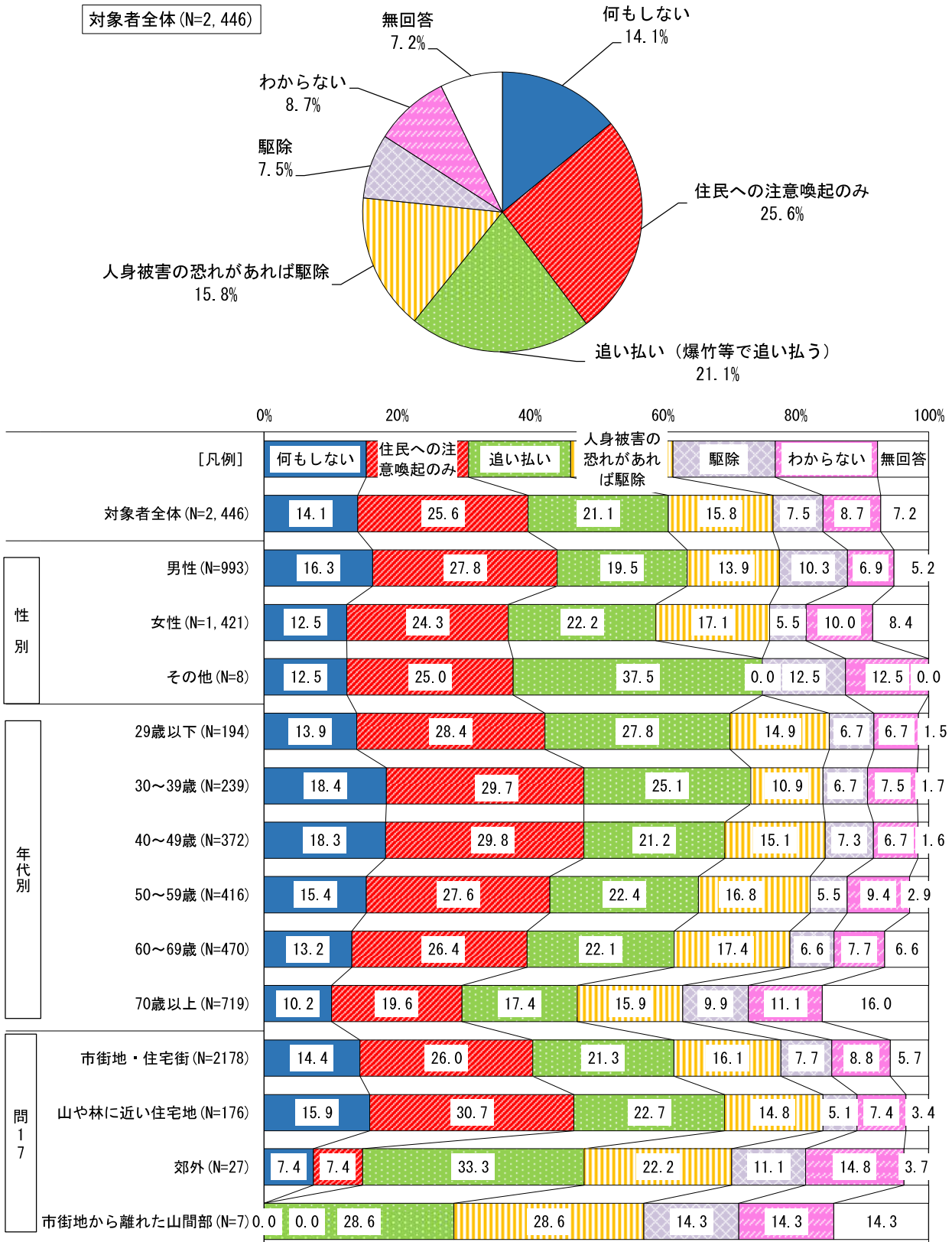
【年代別】「住民への注意喚起のみ」は 30 歳代（18.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（9.2%）と比べると、9.6 ポイントの差となっている。また、「追い払い（爆竹等で追い払う）」は 50 歳代（26.0%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（16.1%）と比べると 9.9 ポイントの差となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問 1 8 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(エ) 市街地から離れた山間部

市街地から離れた山間部では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が 35.9%



【全 体】市街地から離れた山間部にヒグマが出没した際の対策は、「住民への注意喚起のみ」が 25.6%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が 21.1%、「人身被害の恐れがあれば駆除」が 15.8%、「駆除」が 7.5%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「住民への注意喚起のみ」は 40 歳代（29.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（19.6%）と比べると、10.2 ポイント以上の差となっている。「追い払い（爆竹等で追い払う）」は 29 歳以下（27.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（17.4%）と比べると 10.4 ポイントの差となっている。